

第2章 保健予防

保健予防課

1 予防接種

(1) 定期予防接種

予防接種法により一定の年齢に達した者に対して、結核（ＢＣＧ）、ジフテリア・百日せき・破傷風・急性灰白髄炎（ポリオ）、麻しん・風しん、日本脳炎、ヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症、ＨＰＶ感染症（子宮頸がん等）、水痘、Ｂ型肝炎、ロタウイルス感染症、インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌感染症、新型コロナウイルスの予防接種を実施している。実施後は、「予防接種済証」を交付している。（乳幼児の場合は、母子健康手帳への記載に代える。）

定期予防接種実施状況

種 別			令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		
			交付	実施	交付	実施	交付	実施	交付	実施	接種率
B C G			1,511	1,410	1,415	(1) 1,337	1,402	1,274	1,533	1,450	94.6%
D P T - I P V H i b (5 種混合)	I 期 初 回	1 回 目	—	—	—	—	—	—	1,597	1,480	92.7%
		2 回 目	—	—	—	—	—	—	1,612	1,323	82.1%
		3 回 目	—	—	—	—	—	—	1,624	1,175	72.4%
	I 期 追 加		—	—	—	—	—	—	619	113	18.3%
D P T - I P V (4 種混合)	I 期 初 回	1 回 目	1,566	1,472	1,527	(1) 1,367	1,405	(1) 1,511	2	(2) 54	—
		2 回 目	1,577	1,472	1,534	(1) 1,369	1,413	(1) 1,472	6	177	—
		3 回 目	1,595	(1) 1,433	1,532	1,346	1,439	1,449	18	350	—
	I 期 追 加		1,362	1,284	1,316	1,191	1,258	1,171	1,346	(1) 1,122	83.4%
D T II 期 (2 種混合)			1,199	765	1,111	723	1,159	709	1,191	795	66.8%
(麻しん風しん) M R	I 期		1,368	1,288	1,303	1,295	1,302	1,202	1,385	1,254	90.5%
	II 期		1,259	1,147	1,224	1,140	1,245	1,141	1,219	1,026	84.2%

種 別			令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		
			交付	実施	交付	実施	交付	実施	交付	実施	接種率
麻しん	Ⅰ 期		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅱ 期		—	—	—	—	—	—	—	—	—
風しん	Ⅰ 期		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅱ 期		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅴ期	抗体検査	—	902	24,250	864	23,377	639	23,038	534	—
		予防接種	—	194	24,250	181	23,377	114	23,038	97	—
日本脳炎	Ⅰ期	1 回目	1,230	(2) 1,100	1,226	(1) 1,105	1,189	1,047	1,200	1,121	93.4%
		2 回目	1,239	(1) 1,090	1,231	1,068	1,203	958	1,220	1,100	90.2%
		追 加	220	449	1,197	1,612	1,210	1,015	1,172	876	74.7%
	Ⅰ期特例	1 回目	44	32	25	36	22	19	14	21	150.0%
		2 回目	49	27	28	29	24	20	16	17	106.3%
		追 加	77	51	52	55	28	32	25	22	88.0%
	Ⅱ 期		185	352	1,342	1,402	1,335	1,065	1,257	(1) 1,086	86.4%
(不活化) ポリオ	Ⅰ期初回	1 回目	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
		2 回目	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
		3 回目	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%
	Ⅰ 期 追 加		0	1	1	1	1	1	0	0	0.0%
ヒブ感染症	初回	1 回目	1,581	1,501	1,426	1,387	1,403	(1) 1,416	4	59	—
		2 回目	1,599	1,481	1,438	1,373	1,408	(1) 1,378	9	171	—
		3 回目	1,613	1,467	1,449	1,360	1,432	(1) 1,317	13	330	—
	追 加		1,403	1,276	1,322	1,244	1,314	(1) 1,151	963	1,122	116.5%
小児の肺炎球菌感染症	初回	1 回目	1,585	1,503	1,427	(1) 1,389	1,521	(2) 1,416	1,577	1,546	98.0%
		2 回目	1,600	1,482	1,439	1,375	1,525	(1) 1,381	1,594	1,494	93.7%
		3 回目	1,614	1,466	1,451	1,356	1,550	(1) 1,315	1,618	1,510	93.3%
	追 加		1,376	1,265	1,306	1,280	1,306	(1) 1,166	1,395	1,250	89.6%

種 別			令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		
			交付	実施	交付	実施	交付	実施	交付	実施	接種率
H P V 感 染 症	1	回 目	318	246	1,884	226	555	(1) 310	1,894	423	22.3%
	2	回 目	314	270	1,884	216	554	230	1,858	319	17.2%
	3	回 目	315	245	1,885	191	553	138	1,861	165	8.9%
(キ ャ ッ チ ア ッ プ) H P V 感 染 症	1	回 目	—	—	6,860	386	302	533	—	1,882	—
	2	回 目	—	—	6,910	306	327	470	—	1,580	—
	3	回 目	—	—	7,019	178	358	445	—	1,356	—
水 痘	1	回 目	1,322	1,292	1,319	1,290	1,226	1,205	1,286	1,250	97.2%
	2	回 目	1,234	1,211	1,177	1,171	1,146	1,128	1,058	1,052	99.4%
B 型 肝 炎	1	回 目	1,582	1,496	1,421	1,377	1,514	1,408	(1) 1,584	1,525	96.3%
	2	回 目	1,598	1,470	1,434	1,367	1,521	1,376	1,595	1,490	93.4%
	3	回 目	1,649	1,309	1,456	1,286	1,565	1,194	1,655	1,338	80.8%
ロ タ ウ イ ル ス	1 価	1 回 目	1,580	1,000	1,425	980	1,514	988	(1) 1,583	1,123	70.9%
		2 回 目	1,598	956	1,436	957	1,518	961	1,592	1,073	67.4%
	5 価	1 回 目	1,580	515	1,425	395	1,514	417	1,583	390	24.6%
		2 回 目	1,598	490	1,436	394	1,518	405	1,592	402	25.3%
		3 回 目	1,585	492	1,423	389	1,524	376	1,591	416	26.1%
高齢者 インフルエンザ			46,398	25,654	45,939	28,367	45,579	28,115	45,238	23,737	52.5%
新型 コロナウイルス			—	—	—	—	—	—	45,817	15,004	32.7%
高齢者の 肺炎球菌感染症			6,026	1,722	6,483	1,745	6,597	1,895	2,076	454	21.9%

※DPT（3種混合）・DPT－IPV（4種混合）・DT（2種混合）は、ジフテリア（D）・百日せき（P）・破傷風（T）・ポリオ（IPV）

※DPT－IPV－Hib（5種混合）は令和6年4月より定期接種に追加

※HPV感染症（子宮頸がん等）

- ・平成25年6月14日から積極的勧奨見合わせ
- ・令和2年10月から制度紹介通知を送付
- ・令和4年4月から積極的勧奨再開・キャッチアップ接種開始

※風しん（第Ⅴ期）

平成31年2月から定期予防接種に追加（当初令和3年度までとされたが、令和6年度までに延長）

※日本脳炎は令和3年度中のワクチン供給量不足に伴い、一部年齢に対しての接種券送付を令和4年度に延期

※高齢者インフルエンザ

令和4年度は対象者に全額助成を実施

※新型コロナウイルス

令和6年度より臨時接種から定期接種へ移行

※高齢者肺炎球菌は、令和6年3月末で経過措置期間が終了

※（ ）内数値は、予診のみを別掲

（2）任意予防接種

予防接種法の対象外の予防接種について、接種費用の助成を実施している。
（区単独事業）

種 別	対 象	実施件数
麻疹風しん混合	2歳～18歳まで（MR2期対象者除く）	21
小児インフルエンザ	生後6か月～15歳（中学3年生）	13,959
おたふくかぜ	満1歳以上就学前	2,045
男性向けHPV	小学6年生～高校1年生相当	284
带状疱疹 （生ワクチン）	満50歳以上	204
带状疱疹 （不活化ワクチン）	満50歳以上	3,078

※おたふくかぜ

令和5年8月より2回目の接種費助成開始

※带状疱疹

令和5年8月より接種費助成開始

※男性向けHPV

令和6年8月より接種費助成開始

（3）風しん対策

先天性風しん症候群の予防を図るため、妊娠を希望する女性とその同居者を対象に風しん抗体検査を実施するとともに、抗体価の低い方に対し風しん予防接種費用を助成している。

（区単独事業）

種 別		実施件数
抗体検査	E I A 法	181
	H I 法	155
予防接種	風しん単抗原	107
	麻しん風しん混合	264

2 感染症対策

(1) 感染症患者発生状況

平成11年4月から感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律が施行された。同法に基づき、感染症患者を診断した医師からの届出によって感染症の発生状況を把握し、区民に還元することで感染症の拡大防止を図っている。

ア 2類・3類感染症発生届受理件数（区内医療機関）

区 分 \ 暦 年		2	3	4	5	6
総 数		1	5	2	3	8
2類感染症	急性灰白髄炎（ポリオ）	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群（SARS）	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群（MERS）	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H5N1）	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H7N9）	0	0	0	0	0
3類感染症	コレラ	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	1	0
	腸チフス	0	0	0	0	0
	パラチフス	0	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	1	5	2	2	8

※2類感染症は「結核」を除く（別掲）。（毎年1月～12月の受理件数を計上）

保健師による疫学調査訪問・相談・指導等件数

訪問指導	面接相談	電話相談	文書等連絡	関係機関連絡
18	33	192	74	1537

（合計数についてはP.144（ア）a家庭訪問等の件数の再掲）

イ 性感染症発生届出受理件数

区 分 \ 暦 年	2	3	4	5	6
後天性免疫不全症候群	7	4	2	4	2
梅毒	70	141	173	146	138

（毎年1月～12月の受理件数を計上）

(2) 患者発生時保菌者検索

感染症患者および無症状病原体保有者（下痢、腹痛、発熱等の症状はないが病原体を保有している者）に対し、適切な治療や処置が行われた後、検便により病原体を保有していないことを確認している。また、まん延防止上必要な場合、患者の家族や関係者に対しても、検便を行っている。

検 査 項 目		検査件数	陽性数
総 数		37	5
内 訳	赤 痢	0	0
	腸 チ フ ス	0	0
	パラチフス	0	0
	コ レ ラ	0	0
	腸管出血性大腸菌	37	5
	そ の 他	0	0

(3) 相談・調査

感染症に関する他自治体からの調査依頼や、施設からの相談に対応している。

また、区内施設から感染症の集団発生があった時には報告を受けて積極的疫学調査を実施する。感染症拡大防止のための対策を施設と検討し、集団感染の終息を確認している。

ア 感染症対応事例（結核を除く）※疑い例含む

1 類感染症	2 類感染症	3 類感染症	4 類感染症	5 類感染症	その他
0	0	16	16	146	11

イ 区内集団発生（予防対策を含む）・施設別相談対応・調査実施件数（結核を除く） （（3）アの施設分の内訳）※疑い例含む

	保育園・幼稚園	小学校・中学校	高校・大学・専門学校等	社会福祉施設等	医療機関	その他
インフルエンザ	8	18	1	3	0	0
新型コロナウイルス感染症	3	2	0	12	6	0
感染性胃腸炎	21	2	0	0	0	0
レジオネラ症	0	0	0	2	0	4
疥癬	0	0	0	2	0	0
手足口病	25	0	0	0	0	0
その他	9	3	0	0	3	6

(4) 健康教育

感染症に関する知識等の普及啓発の場として、区主催の会合や区内施設に出向いて健康教育を実施した。

回数	参加人数
1 回	23 人

3 結核対策

(1) 登録患者数

全国的に結核り患率は減少の傾向にあり、2021年は人口10万対9.2と、10未満となったため、日本は結核低まん延国となった。しかし、本区におけるり患率は国及び都に比べて依然として高い状況にある。結核と診断された患者を適切な医療につなげて、早期治療、療養支援（DOTS）を行っている。また、感染源や感染経路を調査し、新たな感染者や発病者の早期発見のための健康診断を行っている。

ア 登録患者数

(令和6年12月31日現在)

		総数	活 動 性 結 核									不活動 肺結核	活動性 不明	潜在性結核 感染症 (別掲)	
			総数	肺 結 核 活 動 性						肺外 結核 活動性	治療中			観察中	
				総数	登録時	略痰塗抹陽性	登録時	登録時	菌陰性・その他						
					総数	初回 治療	再 治療	その他 結核菌陽性							
総 数	総数	71	16	14	4	4	0	8	2	2	42	13	8	16	
	男	52	12	11	3	3	0	6	2	1	30	10	5	4	
	女	19	4	3	1	1	0	2	0	1	12	3	3	12	
0～4歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5～9歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10～14歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15～19歳	総数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
20～29歳	総数	8	5	4	1	1	0	2	1	1	3	0	1	6	
	男	5	3	2	1	1	0	0	1	1	2	0	1	0	
	女	3	2	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0	6	
30～39歳	総数	7	1	1	0	0	0	1	0	0	6	0	0	2	
	男	4	1	1	0	0	0	1	0	0	3	0	0	1	
	女	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	
40～49歳	総数	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	
	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
	女	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
50～59歳	総数	8	1	1	0	0	0	1	0	0	6	1	2	1	
	男	6	1	1	0	0	0	1	0	0	4	1	0	0	
	女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1	
60～69歳	総数	9	2	2	0	0	0	1	1	0	5	2	2	1	
	男	7	2	2	0	0	0	1	1	0	5	0	2	1	
	女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
70～79歳	総数	16	2	2	1	1	0	1	0	0	12	2	1	0	
	男	13	2	2	1	1	0	1	0	0	9	2	1	0	
	女	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	
80歳以上	総数	19	4	4	2	2	0	2	0	0	10	5	2	5	
	男	15	3	3	1	1	0	2	0	0	7	5	1	2	
	女	4	1	1	1	1	0	0	0	0	3	0	1	3	
年齢不詳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

イ 登録患者数〔受療状況別〕

(令和6年12月31日現在)

		総数	活 動 性 結 核							肺外 結核 活動性	不活動性 結核	活動性 不明
			総数	肺 結 核 活 動 性								
				登録時喀痰塗抹陽性			登録時その他の 結核菌陽性	登録時菌陰 性・その他				
				総数	初回 治療	再 治療						
総 数		71	16	14	4	4	0	8	2	2	42	13
受療状況	入院中	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	外来 治療 中	8	8	7	1	1	0	5	1	1	0	0
	治療 なし	61	7	6	2	2	0	3	1	1	42	12
	不明	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

ウ 登録患者数〔保険の種類・受療状況別〕

(令和6年12月31日現在)

		総 数	被保険者		国民健康保険			後期高齢	生活保護	その他	不明
			本人	家族	一般	退職本人	退職家族				
総 数		71	12	3	17	0	0	17	19	2	1
受療状況	入院中	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	外来治療中	8	2	0	4	0	0	1	1	0	0
	治療なし	61	10	3	12	0	0	16	17	2	1
	不明	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0

エ 新登録患者数〔性別・年齢階級別〕

(令和6年12月31日現在)

		活 動 性 結 核								潜在性結核 感染症 (別掲)
		総数	肺 結 核 活 動 性						肺外結核 活動性	
			総数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時 その他の 結核菌陽性	登録時 菌陰性 ・その他		
				初回 治療	再 治療	治療中				
総 数	総数	26	22	9	9	0	10	3	4	16
	男	21	19	9	9	0	7	3	2	7
	女	5	3	0	0	0	3	0	2	9
0～4歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5～9歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	総数	6	6	2	2	0	3	1	0	5
	男	3	3	2	2	0	0	1	0	2
	女	3	3	0	0	0	3	0	0	3
30～39歳	総数	2	2	1	1	0	1	0	0	1
	男	2	2	1	1	0	1	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1
40～49歳	総数	1	0	0	0	0	0	0	1	1
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	0	0	0	0	1	1
50～59歳	総数	4	3	2	2	0	1	0	1	2
	男	3	3	2	2	0	1	0	0	0
	女	1	0	0	0	0	0	0	1	2
60～69歳	総数	2	2	1	1	0	0	1	0	3
	男	2	2	1	1	0	0	1	0	3
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	総数	7	5	3	3	0	1	1	2	3
	男	7	5	3	3	0	1	1	2	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1
80歳 以上	総数	4	4	0	0	0	4	0	0	1
	男	4	4	0	0	0	4	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1
年齢不詳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 医療費公費負担

ア 一般医療に対する公費負担

結核患者に対し感染症診査協議会の意見を聴いた上で、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第37条の2に規定する医療を受けるための費用について、95%（医療保険各法を先に適用）を公費で負担する。

区 分	申請件数	承認件数
総 数	57	56

イ 入院勧告に対する公費負担

登録時喀痰塗抹陽性の結核患者に対し同法第18条により就業を制限し、同法第19条及び第20条により結核病床を有する感染症指定医療機関に入院した場合において、同法第37条に規定する費用について、全額（医療保険各法を先に適用）を公費で負担する。ただし世帯の収入状況により、自己負担額が生じる場合がある。

区 分	申請件数	承認件数
総 数	16	15

(3) 結核に係る定期の健康診断

同法第53条の2により、事業者や学校にて実施する結核に係る定期の健康診断の対象外となる区民に対し、胸部エックス線検査を実施することとなっている。

65歳以上の者に対して、総合健診の中で胸部エックス線検査を実施した。

区 分	エックス線検査	所見なし	所見あり				要精密
			治癒所見	異常陰影	心拡大	その他	
総合健診 (65歳以上)	15,083	8,567	1,624	543	2,031	2,008	310

(4) 接触者健康診断

同法第17条に基づき、結核患者と接触のあった人を対象に疫学調査を行い、健康診断を行っている。血液検査、ツベルクリン反応検査、胸部エックス線検査などを行い、結核に感染している人や発病している人をできるだけ早期に発見し、治療に結びつけている。

受診者数	エックス線検査		ツベルクリン反応		血液検査	
	異常なし	要精密	異常なし	要精密	陰性	陽性
818	265	0	0	0	494	59

(5) 管理検診

同法第53条の13に基づき、結核患者として登録されている人を対象に、結核治療後の経過観察等のために、精密検査を実施している。

区 分	受診者数	エックス線検査	異常なし 治癒所見	要精密
総 数	58	58	58	0

(6) 重点地区結核検診〔結核対策特別促進事業〕

主に旧山谷地区労働者を対象に、城北労働・福祉センター前に年2回CR車を派遣し、胸部エックス線検査を行っている。

区 分	受診者数	エックス線検査結果				
		異常なし	治癒所見	経過観察	要精密	
					結核疑い	結核外
総 数	50	35	7	0	8	0

(7) 路上生活者結核検診〔結核対策特別促進事業〕

区内住所不定者を対象に、上野公園に年2回CR車を派遣し、胸部エックス線検査を行っている。

区 分	受診者数	エックス線検査結果				
		異常なし	治癒所見	経過観察	要精密	
					結核疑い	結核外
総 数	77	61	5	1	9	1

(8) 日本語学校留学生結核検診〔結核対策特別促進事業〕

区内の日本語学校(14校)に在学する学生を対象に、胸部エックス線検査を行っている。結果を各学校に通知し、要精密者については紹介状を発行し、受診を指導している。

区 分	受診者数	エックス線検査結果					
		異常なし	治癒所見	経過観察	要精密		
					結核疑い	結核外	異常なし
総 数	2,044	2,004	30	0	1	0	9

(9) デインジャーグループ向け結核講演会

デインジャーグループ（医療従事者、学校・保育園関係者、社会福祉施設関係者等）とは、発病の危険は特に高くないが、もし結核を発病した場合には周囲の多くの人々に感染させる恐れが高い集団である。その対象者へ平時の健康管理や健診実施の必要性、結核に関する知識等の普及啓発の場として講演会を開催し、結核の拡大防止を図っている。

実施日	対 象	参加者数	講 師
令和 6 年 11月28日	保育施設 教育施設 関係者	現地参加 40 名 オンライン参加 40 アカウント	公益財団法人結核予防会 複十字病院 呼吸器内科 高柳 喜代子先生 神奈川県衛生研究所 所長 多屋 馨子 先生
令和 7 年 2月17日	社会福祉 施設 関係者	現地参加 3 名 オンライン参加 13 アカウント 0/D 申込 25 名	台東保健所 保健予防課長 尾本 由美子 公益財団法人結核予防会 複十字病院 呼吸器内科 高柳 喜代子先生

(10) 保健指導・服薬支援

結核担当保健師は、平成17年度からDOTS（直接服薬確認療法）を導入し、結核治療の完遂と不規則な服薬による薬剤耐性結核の予防に重点をおいている。また、治療継続が困難な住所不定者に対しては城北労働・福祉センターや福祉事務所と連携をとりながら、療養支援を行っている。また、患者の家族やその他接触者に対する健康診断の実施や相談対応を行い、不安の軽減等を図っている。

区 分 \ 年 度		令和 2	3	4	5	6
訪 問		195	160	246	186	198
所 内 相 談	面接会場	334	258	134	189	249
	電話相談	986	841	419	1,378	1,962
	その他・文書	1,192	1,603	526	1,518	1,480
関係機関連絡	保健関係	343	263	147	491	602
	医療関係	332	315	176	383	218
	福祉関係	13	22	12	58	69
	その他	0	3	17	63	84

（合計数については P.148（イ） a 家庭訪問等の件数の再掲）

4 エイズ予防・性感染症対策

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく特定感染症対策として、希望者に対しH I V検査を行い、感染者の早期発見とエイズについての知識の普及・啓発及び相談事業を行っている。

平成25年末、H I V検査受診枠を拡大するため、梅毒検査を中止した。しかし、近年全国的に梅毒患者報告数が急増しているため、H I V抗体検査と同時に実施可能な梅毒の検査方法を検討し、平成29年5月からH I V検査と同じく梅毒即日検査を開始した。

令和5年より、女性の梅毒感染者数が多い状況を踏まえ、女性が安心して検査を受けることができるよう、年2回のレディースデイを開始した。

(1) 検査件数

ア H I V検査（即日）

年度 区分	2	3	4	5	6
検査者数	4 6 5	5 6 5	7 0 9	7 9 0	8 8 4
陽性者数	5	2	1	3	2

イ 梅毒検査（即日）

年度 区分	2	3	4	5	6
検査者数	4 4 7	5 3 7	6 9 2	7 8 4	8 6 8
陽性数	4 4	5 8	6 8	9 0	7 0
治療必要者	2 0	2 5	1 7	3 6	2 0

(2) 相談件数

年度 区 分	2	3	4	5	6
電話相談	8	1 6	4 7	7 0	2 9
来所相談	4 8 7	5 7 8	7 1 4	7 9 7	8 9 1

※来所相談件数には、上記検査来所者を含む

(3) 講演会等

内 容	対 象	回 数	人 数
講演会	小・中・高等学校生徒等	6	5 3 6

(4) 啓発活動

世界エイズデーキャンペーン、二十歳の集い等でポスター展示およびリーフレットやポケットティッシュ等の配布を行った。

5 精神保健

保健所は、地域における公衆衛生の第一線の行政機関として、精神保健諸問題の中心となり、精神科医、精神保健福祉センター、社会福祉関係諸機関、施設との緊密な連絡調整のもとに、精神障害の早期発見、早期治療、経済的問題、社会復帰を援助するため、相談及び指導を積極的に実施し、地域住民の健康保持、向上を図るための諸活動を行っている。

(1) 自立支援医療費（精神通院）公費負担

精神障害の適正な医療を普及するため、健康保険法の規定による病院、診療所、薬局において、精神障害者が病院及び診療所に入院せずに医療を受ける場合、その医療行為に必要な費用を所得区分に応じて公費で負担する。

発行件数

年 度	発行件数	
	自立支援医療(精神通院)	精神障害者保健福祉手帳
2	3,334	1,856
3	3,842	1,996
4	4,317	2,268
5	4,578	2,479
6	4,485	2,554

(2) 小児精神障害者入院医療費助成

東京都医療費助成実施要綱に基づき実施されている。

この対象者は、患者が都内に居住し、入院治療を必要とする満18歳未満の者で、精神病院に入院中の者に限られる。

申請件数

年 度	2	3	4	5	6
件 数	0	2	3	0	0

(3) 医療保護入院

医療保護入院とは、精神保健福祉法第33条の規定により、精神病院の管理者が診断の必要上、後見人、配偶者、親権を行う者、その他の扶養義務者の同意を得て、精神障害の疑いのある者を一時的に入院させる制度である。

医療保護入院の措置をとるには、10日以内に最寄りの保健所長を経由し、都道府県知事に届け出なければならない。

届出件数（法第33条）

年 度	2	3	4	5	6
件 数	0	0	0	0	1

(4) 警察官通報

警察官は、精神保健福祉法第23条の規定により、その職務を執行するにあたり、精神障害のため、自傷、他害の恐れのある者を発見したときには、直ちに最寄りの保健所長に通報しなければならない。その通報を受理した保健所長は、速やかに都へ報告しなければならない。

受理件数

年 度	2	3	4	5	6
件 数	59	78	90	113	103

(5) 措置入院者退院後支援

東京都の「措置入院者退院後支援ガイドライン」に基づき、退院後の社会復帰及び自立促進のため、本人同意を得た上で医療等必要な支援計画を作成する。

退院後支援に関する件数 10 支援事例数 9件

(6) 精神保健福祉相談（こころの健康相談）

専門医師により、面接、訪問等を実施している。（予約制）

実人数：52人 延人数：52人

相談内容

区 分	社会復帰	老人精神 保健	依存症	思春期	心の健康 づくり	一般 精神	その他	計
延人数	0	0	6	1	15	21	9	52

(7) 精神保健福祉相談（大人の発達障害個別相談）

専門医師、臨床心理士による面接を実施している。（予約制）

実人数：43人 延人数：44人

(8) 家庭訪問・所内相談・電話相談・文書等による相談

保健師による相談を随時行なっている。

相談内容

（延人数）

区 分	社会復帰	老人精神 保健	依存症	思春期	心の健康 づくり	一般 精神	その他	計
訪 問	34	1	29	11	26	409	85	595
面 接	86	3	23	12	38	345	126	633
電 話	361	32	152	73	220	3,403	721	4,962
文 書	7	0	2	7	12	52	46	126
関係機 関連絡	464	32	249	229	293	2,868	692	4,827

※合计数についてはP.147 (ア) a 家庭訪問等の件数の再掲

(9) 自殺未遂者支援

自殺未遂者や自殺の危険性が高い人について、医療機関等と連携し、確実に適切な支援につなげるための体制づくりや、必要な方へ適切な支援が行き届くようにするために、関係機関等との連携を進めている。

自殺未遂者支援者 9名

(10) 精神障害者社会復帰相談事業（発達障害者デイケア）

目的：発達障害者やその疑いのある方を対象に、コミュニケーション能力及び対人関係能力の向上を図るプログラムを実施することで、社会復帰を促進する。

経緯：平成28年度に事業開始。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、変則開催。令和5年度から連続講座形式に変更。

年 度		2	3	4	5	6
実施状況	回 数	19	42	42	41	36
	実人数	2	4	2	9	14
	延人数	33	71	34	63	73
年度末の状況	終 了	0	1	0		
	見学・体験のみ	0	1	1		
	継 続	2	2	1		

プログラム内容：「発達障害って何だろう？」「ストレスとコーピング」「社会資源」「コミュニケーションとは」「相手への気遣い」「医師ミニ講座」等

(1 1) 地域活動支援センター等に対する支援

精神障害者が、自立した日常生活を営むことができるようにすること等を目的として、地域活動支援センター及び障害福祉サービス事業所が設置されている。

入所決定時及び通所中は、地区担当保健師が通所者に対して、スムーズに利用できるよう支援している。

※実人数は、令和 7 年 3 月末現在の人数

区 分	名 称	実人数	訓 練 内 容 等
地域活動支援センター	あさがお	431	日常生活の相談及び支援、地域交流等 実人数：登録者数
	たいとう倶楽部	18	軽作業・レクリエーション
就労継続支援（A型）	H O P E	38	賃金データの入力、アクセサリーの製作等
就労継続支援（B型）	耕房“光”	20	軽作業・レクリエーション
	かれん	15	弁当作り・販売
	耕房“輝”	20	軽作業・レクリエーション
	O N ⁺	17	レクリエーション・コーヒー等の製作及び移動販売
就労移行支援	さら就労塾@ぽればれ／秋葉原	14	企業就労のための訓練
	リファイン就労支援センター	51	企業就労のための訓練
	メルディアトータルサポート上野	19	企業就労のための訓練
生活介護	ダルク・セカンドチャンス	6	ミーティング・健康プログラム等
自立訓練	ダルク・セカンドチャンス	12	ミーティング・ボランティア等
	インテグレーションセンター上野	31	ミーティング・ボランティア等

(1 2) 障害福祉サービス

障害者総合支援法に基づき、障害のある方が住み慣れた地域で安心した日常生活ができるようサービスを行うことにより、精神障害者の自立と社会復帰を促進し、精神障害者の福祉の増進を図る。

サービス種類 \ 年度		2	3	4	5	6
居宅介護 (同行援護含む)	利用実人数	71	81	84	89	101
	利用延人数	672	801	855	906	940
	派遣延時間	3,392.0	3,978.0	4,790.5	7,322.0	11,439.25
短期入所	入所実人数	1	0	1	1	1
	入所延人数	1	0	1	5	3
	入所延日数	6	0	5	12	75
施設入所支援	入所実人数	1	1	1	1	1
	入所延人数	12	12	12	12	6
共同生活援助	入所実人数	74	74	78	55	86
	入所延人数	662	685	682	691	755
就労移行	利用実人数	78	81	90	84	88
	利用延人数	571	530	624	580	559
就労継続 A	利用実人数	14	13	10	12	21
	利用延人数	117	114	97	106	113
就労継続 B	利用実人数	141	145	163	168	181
	利用延人数	1,350	1,447	1,545	1,574	1,692
就労定着支援	利用実人数	24	33	35	47	50
	利用延人数	190	221	246	321	380
生活介護	利用実人数	7	8	5	7	6
	利用延人数	71	63	53	63	52
自立訓練(生活訓練)	利用実人数	46	60	65	29	62
	利用延人数	312	426	425	355	439
宿泊型自立訓練	利用実人数	3	3	1	3	5
	利用延人数	28	20	5	23	35
計画相談支援 給付	利用実人数	192	268	323	400	369
	利用延人数	795	899	1,111	1,150	1,285
地域移行支援	利用実人数	6	1	2	2	3
	利用延人数	27	4	11	11	13
放課後等デイサービス	利用実人数	129	136	130	156	189
	利用延人数	1,359	1,660	1,720	2,144	2,359
保育所等訪問 支援	利用実人数	0	2	3	4	8
	利用延人数	0	20	23	37	54
自立生活援助	利用実人数	0	1	1	1	0
	利用延人数	0	1	12	10	0

6 難病等疾病対策

(1) 難病医療費等助成

特殊疾病は、原因がはっきりしないばかりか、療養には長期にわたる場合が多く、多額の経済的負担があり、治療を続けていくために幾多の困難に直面することが多い。

このため、経済的負担を少しでも軽くし治療を受けやすくするため、「東京都難病医療費等助成制度」により公費助成を行っている。平成27年1月1日の難病法施行に伴い、対象疾病が拡大された。

※平成27年1月以前国補助対象疾病56疾病、都単独助成23疾病、特殊医療費2疾病

▼対象疾病拡大

○平成27年1月 第一次拡大

国補助対象110疾病、都単独助成15疾病、特殊医療費2疾病

○平成27年7月 第二次拡大

国補助対象疾病306疾病、都単独助成8疾病、特殊医療費2疾病

○平成29年4月 第三次拡大

国補助対象疾病330疾病、都単独助成8疾病、特殊医療費2疾病

○平成30年4月 第四次拡大

国補助対象疾病331疾病、都単独助成8疾病、特殊医療費2疾病

○令和元年7月 第五次拡大

国補助対象疾病333疾病、都単独助成8疾病、特殊医療費2疾病

○令和3年11月 第六次拡大

国補助対象疾病338疾病、都単独助成8疾病、特殊医療費2疾病

○令和6年4月 第七次拡大

国補助対象疾病341疾病、都単独助成8疾病、特殊医療費2疾病

対象疾病及び登録患者数

国の対象疾病

(年度末現在)

区 分	年 度	2	3	4	5	6
告示番号 疾病名	総 数	2,360	2,582	2,525	2,549	2,616
1 球脊髄性筋萎縮症		4	3	3	3	1
2 筋萎縮性側索硬化症		21	22	22	19	19
3 脊髄性筋萎縮症		1	1	1	1	1
4 原発性側索硬化症		1	1	1	1	1
5 進行性核上性麻痺		24	26	21	26	28
6 パーキンソン病		222	229	205	218	233
7 大脳皮質基底核変性症		13	10	8	7	9
8 ハンチントン病		1	1	1	1	1
9 神経有棘赤血球症		0	0	0	0	0
10 シャルコー・マリー・トゥース病		5	5	4	4	4
11 重症筋無力症		45	51	52	52	55
12 先天性筋無力症候群		0	0	0	0	0
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎		37	42	46	52	56
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー		9	10	10	10	11
15 封入体筋炎		1	1	1	1	1
16 クロウ・深瀬症候群		1	0	0	0	0
17 多系統萎縮症		16	20	15	18	18
18 脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）		49	47	40	39	38
19 ライソゾーム病		4	4	2	2	2
20 副腎白質ジストロフィー		1	1	1	1	1
21 ミトコンドリア病		1	1	2	2	2
22 もやもや病		26	31	28	28	27

区 分	年 度	2	3	4	5	6
23 プリオン病		1	1	0	1	1
24 亜急性硬化性全脳炎		0	0	0	0	0
25 進行性多巣性白質脳症		0	0	0	0	0
26 H T L V - 1 関連脊髄症		0	0	0	0	0
27 特発性基底核石灰化症		1	1	1	1	1
28 全身性アミロイドーシス		8	9	13	16	17
29 ウルリッヒ病		0	0	0	0	0
30 遠位型ミオパチー		0	0	0	0	1
31 ベスレムミオパチー		1	1	1	1	1
32 自己貪食空胞性ミオパチー		0	0	0	0	0
33 シュワルツ・ヤンペル症候群		0	0	0	0	0
34 神経線維腫症		4	4	4	4	4
35 天疱瘡		1	1	2	1	2
36 表皮水疱症		4	4	4	4	5
37 膿疱性乾癬（汎発型）		8	6	6	6	7
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群		1	1	0	0	0
39 中毒性表皮壊死症		0	0	1	1	1
40 高安動脈炎		8	12	10	9	9
41 巨細胞性動脈炎		7	9	10	12	13
42 結節性多発動脈炎		4	5	5	4	3
43 顕微鏡的多発血管炎		19	19	23	23	23
44 多発血管炎性肉芽腫症		8	9	11	11	11
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症		9	11	14	17	20
46 悪性関節リウマチ		9	10	11	11	10
47 バージャー病		4	3	2	2	2
48 原発性抗リン脂質抗体症候群		2	2	1	1	1
49 全身性エリテマトーデス		114	123	112	110	108
50 皮膚筋炎／多発性筋炎		34	41	43	46	49
51 全身性強皮症		42	42	48	52	50
52 混合性結合組織病		23	25	25	23	23
53 シェーグレン症候群		42	50	50	52	55
54 成人発症スチル病		10	12	13	14	13
55 再発性多発軟骨炎		3	2	2	1	1
56 ペーチェット病		32	37	32	28	32
57 特発性拡張型心筋症		26	25	25	22	22
58 肥大型心筋症		10	9	7	7	8
59 拘束型心筋症		0	0	0	0	0
60 再生不良性貧血		12	16	16	15	14
61 自己免疫性溶血性貧血		1	1	4	5	3
62 発作性夜間ヘモグロビン尿症		0	0	0	0	1
63 特発性血小板減少性紫斑病		31	39	26	24	22
64 血栓性血小板減少性紫斑病		2	1	0	0	0
65 原発性免疫不全症候群		5	8	7	9	10
66 I g A腎症		12	16	19	22	25
67 多発性嚢胞腎		22	20	22	23	26
68 黄色靱帯骨化症		12	15	14	10	10
69 後縦靱帯骨化症		41	56	50	50	53
70 広範脊柱管狭窄症		8	10	11	11	8
71 特発性大腿骨頭壊死症		35	40	37	40	46
72 下垂体性A D H分泌異常症		4	4	4	4	4

区 分	年 度	2	3	4	5	6
73 下垂体性TSH分泌亢進症		1	2	1	1	1
74 下垂体性PRL分泌亢進症		2	3	4	3	4
75 クッシング病		1	1	0	3	3
76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症		0	0	0	0	0
77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症		5	7	5	3	3
78 下垂体前葉機能低下症		26	29	31	33	33
79 家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）		0	0	0	0	0
80 甲状腺ホルモン不応症		0	0	0	0	0
81 先天性副腎皮質酵素欠損症		1	1	1	1	2
82 先天性副腎低形成症		0	0	0	0	0
83 アジソン病		0	0	0	0	0
84 サルコイドーシス		30	32	35	32	32
85 特発性間質性肺炎		37	42	40	33	36
86 肺動脈性肺高血圧症		7	9	7	6	8
87 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症		0	0	0	0	0
88 慢性血栓塞栓性肺高血圧症		6	6	6	7	7
89 リンパ脈管筋腫症		1	1	1	1	1
90 網膜色素変性症		34	33	35	32	31
91 バッド・キアリ症候群		0	0	0	0	0
92 特発性門脈圧亢進症		0	0	0	0	0
93 原発性胆汁性胆管炎		26	26	24	23	22
94 原発性硬化性胆管炎		0	1	1	1	1
95 自己免疫性肝炎		23	24	22	20	18
96 クローン病		81	87	86	94	102
97 潰瘍性大腸炎		256	296	304	303	319
98 好酸球性消化管疾患		2	1	1	1	1
99 慢性特発性偽性腸閉塞症		1	0	0	0	0
100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症		0	0	0	0	0
101 腸管神経節細胞僅少症		0	0	0	0	0
102 ルビンシュタイン・テイビ症候群		0	0	0	0	0
103 CFC症候群		0	0	0	0	0
104 コステロ症候群		0	0	0	0	0
105 チャージ症候群		0	0	0	0	0
106 クリオピリン関連周期熱症候群		0	0	0	0	0
107 若年性特発性関節炎		2	2	3	3	3
108 TNF受容体関連周期性症候群		0	0	0	0	0
109 非典型溶血性尿毒症症候群		0	0	0	0	0
110 ブラウ症候群		0	0	0	0	0
111 先天性ミオパチー		0	0	0	0	0
112 マリネスコ・シェーグレン症候群		0	0	0	0	0
113 筋ジストロフィー		4	4	6	6	5
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群		1	1	0	0	0
115 遺伝性周期性四肢麻痺		0	0	0	0	0
116 アトピー性脊髄炎		0	0	0	0	0
117 脊髄空洞症		2	2	3	3	3
118 脊髄髄膜瘤		0	0	0	0	0
119 アイザックス症候群		1	2	2	1	1
120 遺伝性ジストニア		0	0	0	0	0
121 脳内鉄沈着神経変性症		0	0	0	0	0
122 脳表ヘモジデリン沈着症		0	0	0	0	1

区 分	年 度	2	3	4	5	6
123	H T R A 1 関連脳小血管病	0	0	0	0	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	0	0	0	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	0	0	0	0
126	ペリー病	0	0	0	0	0
127	前頭側頭葉変性症	4	6	4	3	3
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	1	1	1	1	1
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0	0	0	0	0
130	先天性無痛無汗症	0	0	0	0	0
131	アレキサンダー病	1	1	1	1	1
132	先天性核上性球麻痺	0	0	0	0	0
133	メビウス症候群	0	0	0	0	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	0	0	0	0
135	アイカルディ症候群	0	0	0	0	0
136	片側巨脳症	0	0	0	0	0
137	限局性皮質異形成	0	0	0	0	0
138	神経細胞移動異常症	0	0	0	0	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	0	0	0	0
140	ドラベ症候群	0	0	0	0	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1	1	1	0	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	0	0	0	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	0	0	0	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	0	0	0	0
145	ウエスト症候群	0	0	0	0	0
146	大田原症候群	0	0	0	0	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	0	0	0	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	0	0	0	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	0	0	0	0
150	環状20番染色体症候群	0	0	0	0	0
151	ラスムッセン脳炎	0	0	0	0	0
152	P C D H 19 関連症候群	0	0	0	0	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	0	0	0	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	0	0	0	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	0	0	0	0
156	レット症候群	0	0	0	0	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	0	0	0	0
158	結節性硬化症	1	1	1	2	2
159	色素性乾皮症	0	0	0	0	0
160	先天性魚鱗癬	0	0	0	0	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	0	0	0	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	10	12	10	8	8
163	特発性後天性全身性無汗症	1	2	2	3	2
164	眼皮膚白皮症	0	0	0	0	0
165	肥厚性皮膚骨膜症	0	0	0	0	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	0	0	0	0	0
167	マルファン症候群／ロイス・ディーツ症候群	1	1	1	1	3
168	エーラス・ダンロス症候群	3	2	2	2	2
169	メンケス病	0	0	0	0	0
170	オクシピタル・ホーン症候群	0	0	0	0	0
171	ウィルソン病	2	2	3	2	4
172	低ホスファターゼ症	0	0	0	0	0

区 分	年 度	2	3	4	5	6
173	V A T E R症候群	0	0	0	0	0
174	那須・ハコラ病	0	0	0	0	0
175	ウィーバー症候群	0	0	0	0	0
176	コフィン・ローリー症候群	0	0	0	0	0
177	ジュベール症候群関連疾患	0	0	0	0	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0	0	0	0	0
179	ウィリアムズ症候群	0	0	0	0	0
180	A T R - X症候群	0	0	0	0	0
181	クルーゾン症候群	0	0	0	0	0
182	アペール症候群	0	0	0	0	0
183	ファイファー症候群	0	0	0	0	0
184	アントレー・ビクスラー症候群	0	0	0	0	0
185	コフィン・シリス症候群	0	0	0	0	0
186	ロスムンド・トムソン症候群	0	0	0	0	0
187	歌舞伎症候群	0	0	0	0	0
188	多脾症候群	0	0	0	0	0
189	無脾症候群	0	0	0	0	0
190	鰓耳腎症候群	0	0	0	0	0
191	ウェルナー症候群	1	1	1	1	1
192	コケイン症候群	0	0	0	0	0
193	プラダー・ウィリ症候群	0	0	0	0	0
194	ソトス症候群	0	0	1	1	1
195	ヌーナン症候群	0	0	0	0	0
196	ヤング・シンプソン症候群	0	0	0	0	0
197	1 p 36欠失症候群	0	0	0	0	0
198	4 p欠失症候群	0	0	0	0	0
199	5 p欠失症候群	0	0	0	0	0
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0	0	0	0	0
201	アンジェルマン症候群	0	0	0	0	0
202	スミス・マギニス症候群	0	0	0	0	0
203	22q11. 2欠失症候群	0	0	0	0	0
204	エマヌエル症候群	0	0	0	0	0
205	脆弱X症候群関連疾患	0	0	0	0	0
206	脆弱X症候群	0	0	0	0	0
207	総動脈幹遺残症	0	0	0	0	0
208	修正大血管転位症	0	0	0	0	0
209	完全大血管転位症	1	1	1	1	1
210	単心室症	2	2	2	2	2
211	左心低形成症候群	0	0	0	0	0
212	三尖弁閉鎖症	0	0	0	0	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	0	1	1	1
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	0	0	0	0
215	ファロー四徴症	1	2	2	1	1
216	両大血管右室起始症	1	1	1	2	2
217	エプスタイン病	0	1	1	1	1
218	アルポート症候群	0	0	0	0	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	0	0	0	0
220	急速進行性糸球体腎炎	3	2	2	3	2
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	0	0	1	1
222	一次性ネフローゼ症候群	37	42	43	44	38

区 分	年 度	2	3	4	5	6
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	2	1	1	0
224	紫斑病性腎炎	3	4	3	4	2
225	先天性腎性尿崩症	0	0	0	0	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	1	2	3	3	2
227	オスラー病	2	2	2	3	3
228	閉塞性細気管支炎	0	0	0	0	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	0	0	0	0	0
230	肺胞低換気症候群	0	0	0	0	0
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	0	0	0	0	0
232	カーニー複合	0	0	0	0	0
233	ウォルフラム症候群	0	0	0	0	0
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0	0	0	0	0
235	副甲状腺機能低下症	0	0	0	0	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	0	0	0	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	0	0	0	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	2	1	1	1
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	0	0	0	0
240	フェニルケトン尿症	0	0	0	0	0
241	高チロシン血症1型	0	0	0	0	0
242	高チロシン血症2型	0	0	0	0	0
243	高チロシン血症3型	0	0	0	0	0
244	メープルシロップ尿症	0	0	0	0	0
245	プロピオン酸血症	0	0	0	0	0
246	メチルマロン酸血症	0	0	0	0	0
247	イソ吉草酸血症	0	0	0	0	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	0	0	0	0
249	グルタル酸血症1型	0	0	0	0	0
250	グルタル酸血症2型	0	0	0	0	0
251	尿素サイクル異常症	1	1	2	2	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	0	0	0	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	0	0	0	0
254	ポルフィリン症	1	1	1	1	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	0	0	0	0
256	筋型糖原病	0	0	0	0	0
257	肝型糖原病	0	0	0	0	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0	0	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0	0	0
260	シトステロール血症	0	0	0	0	0
261	タンジール病	0	0	0	0	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	0	0	0	0
263	脳腱黄色腫症	0	0	0	0	0
264	無 β リポタンパク血症	0	0	0	0	0
265	脂肪萎縮症	0	0	0	0	0
266	家族性地中海熱	0	1	2	1	1
267	高IgD症候群	0	0	0	0	0
268	中條・西村症候群	0	0	0	0	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	0	0	0	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	1	1	1	1
271	強直性脊椎炎	8	7	10	9	12
272	進行性骨化性線維異形成症	0	0	0	0	0

区 分	年 度	2	3	4	5	6
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	0	0	0	0
274	骨形成不全症	1	1	1	1	1
275	タナトフォリック骨異形成症	0	0	0	0	0
276	軟骨無形成症	0	0	0	0	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0	0	0	0	0
278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	0	0	0	0	0
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	1	1	0	0	0
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	0	0	0	0	1
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0	0	0	0	1
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0	0	0	0	0
283	後天性赤芽球癆	2	3	4	3	3
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	1	1	1	1	1
285	ファンコニ貧血	0	0	0	0	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0	0	0	0	0
287	エプスタイン症候群	0	0	0	0	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	2	2	2	2	1
289	クロンカイト・カナダ症候群	0	0	0	0	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0	0	0	0	0
291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	0	0	0	0	0
292	総排泄腔外反症	0	0	0	0	0
293	総排泄腔遺残	0	0	0	0	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0	0	0	0	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0	0	0	0	0
296	胆道閉鎖症	4	5	5	3	2
297	アラジール症候群	0	0	0	0	0
298	遺伝性膵炎	0	0	0	0	0
299	嚢胞性線維症	0	0	0	0	0
300	I g G 4 関連疾患	11	13	11	10	12
301	黄斑ジストロフィー	0	0	0	0	0
302	レーベル遺伝性視神経症	1	1	1	1	1
303	アッシャー症候群	0	0	0	0	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0	0	1	1	1
305	遅発性内リンパ水腫	0	0	0	0	0
306	好酸球性副鼻腔炎	31	47	70	83	97
307	カナバン病	0	0	0	0	0
308	進行性白質脳症	0	0	0	0	0
309	進行性ミオクロームステんかん	0	0	0	0	0
310	先天異常症候群	0	0	0	0	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	0	0	0	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	0	0	0	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	0	0	0	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	0	0	0	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX 1 B 関連腎症	0	0	0	0	0
316	カルニチン回路異常症	0	0	0	0	0
317	三頭酵素欠損症	0	0	0	0	0
318	シトリン欠損症	0	0	0	0	0
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0	0	0	0	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0	0	0	0	0
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0	0	0	0	0
322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0	0	0	0	0

区 分	年 度	2	3	4	5	6
323 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症		0	0	0	0	0
324 メチルグルタコン酸尿症		0	0	0	0	0
325 遺伝性自己炎症疾患		0	0	0	0	0
326 大理石骨病		0	0	0	0	0
327 特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）		1	1	1	0	1
328 前眼部形成異常		0	0	0	0	0
329 無虹彩症		0	0	0	0	0
330 先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症		0	0	0	0	0
331 特発性多中心性キャッスルマン病		1	1	1	2	1
332 膠様滴状角膜ジストロフィー		0	0	0	0	0
333 ハッチンソン・ギルフォード症候群		0	0	0	0	0
334 脳クレアチン欠乏症候群		-	0	0	0	0
335 ネフロン癆		-	0	0	0	0
336 家族性低βリポタンパク血症1（ホモ接合体）		-	0	0	0	0
337 ホモシスチン尿症		-	0	0	0	0
338 進行性家族性肝内胆汁うっ滞症		-	0	0	0	0
339 MECP2重複症候群		-	-	-	-	0
340 線毛機能不全症候群（カルタゲナー症候群を含む。）		-	-	-	-	0
341 TRPV4異常症		-	-	-	-	0

特殊医療費

区 分	年 度	2	3	4	5	6
1 人工透析を必要とする腎不全		548	566	536	526	510
2 先天性血液凝固因子欠乏症		7	11	11	14	16

都の対象疾病

区 分	年 度	2	3	4	5	6
77 悪性高血圧		0	0	0	0	0
80 原発性骨髄線維症		2	3	3	3	2
83 母 斑 症		1	1	0	0	0
88 古典的特発性好酸球増多症候群		0	0	0	0	0
91 びまん性汎細気管支炎		1	1	1	1	1
95 遺伝性QT延長症候群		1	1	1	2	2
97 網膜脈絡膜萎縮症		0	0	0	0	0
866 肝内結石症		1	1	1	1	1

【B型・C型ウイルス肝炎治療医療費助成制度】

平成14年10月1日から「B型・C型ウイルス肝炎入院医療費助成制度」が始まり、都単独事業として平成19年10月からC型ウイルス肝炎インターフェロン治療費助成を行っていたが、平成20年4月から全国制度としてB型・C型ウイルス肝炎に対するインターフェロン治療の医療費助成が開始され、以降都も国制度に基づき実施している。

平成26年9月からC型慢性肝炎に対するインターフェロンフリー治療が助成の対象となり、その後もレジパスビル/ソホスブビルなどの新薬剤が助成対象として追加された。

平成27年12月からC型ウイルス肝炎インターフェロンフリー治療不成功後の再治療が医療費助成の対象となっている。

平成30年12月からB型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変の入院医療費への助成が受けられることとなった。

令和3年4月からB型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変の外来医療（分子標的薬を用いた化学療法、肝動注化学療法）を助成対象に追加するなどの見直しが行われた。

登録患者数

(年度末現在)

区 分	年 度	2	3	4	5	6
B型・C型ウイルス肝炎インターフェロン		4	1	1	1	1
核酸アナログ製剤治療(B型ウイルス肝炎)		147	152	150	160	159
3剤併用療法(C型ウイルス肝炎)		0	0	0	0	0
インターフェロンフリー治療(C型ウイルス肝炎)		23	17	18	9	1
肝がん・重度肝硬変の医療費への助成		0	0	0	0	0

(2) 難病患者等支援

障害者総合支援法に基づき、難病患者等が日常生活や社会生活を営むことができるよう福祉サービスを行う。

サービス種類		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
居 宅 介 護	利 用 実 人 員	0	0	1	1	5
	利 用 延 人 数	0	0	2	16	34
	派 遣 延 時 間	0.00	0.00	3.00	23.00	941.50
重 度 訪 問 介 護	利 用 実 人 員	0	0	0	2	2
	利 用 延 人 数	0	0	0	20	36
	派 遣 延 時 間	0	0	0	2,269.5	5,604.0
就 労 移 行 支 援	利 用 実 人 員	0	2	0	0	0
	利 用 延 人 数	0	6	0	0	0
就 労 継 続 B	利 用 実 人 員	1	1	1	1	1
	利 用 延 人 数	11	12	13	12	12
計 画 相 談 支 援 給 付	利 用 実 人 員	1	1	2	2	2
	利 用 延 人 数	11	1	8	5	5
放 課 後 等 デ イ サービス	利 用 実 人 員	0	0	0	0	0
	利 用 延 人 数	0	0	0	0	0
就 労 定 着 支 援	利 用 実 人 員	0	0	1	0	0
	利 用 延 人 数	0	0	3	0	0
児 童 発 達 支 援	利 用 実 人 員	0	0	1	0	0
	利 用 延 人 数	0	0	7	0	0
居 宅 訪 問 型 児 童 発 達 支 援	利 用 実 人 員	0	0	0	1	0
	利 用 延 人 数	0	0	0	11	0

(3) 日常生活用具給付等事業

台東区障害者地域生活支援事業実施要綱に基づき、在宅難病患者の日常生活をより円滑にするため、日常生活用具の給付を行う。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件 数	3	3	3	2	4

(4) 在宅難病患者医療機器貸与

在宅難病患者の方に吸入器及び吸引器を貸与することによって、患者・家庭の経済的負担の軽減と療養環境の向上を図る。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
吸 入 器	0	0	0	0	0
吸 引 器	1	1	1	1	1

(5) 在宅人工呼吸器難病患者訪問看護事業

在宅療養中の人工呼吸器使用難病患者が、医療保険の定める回数を超えて1日複数回の介護が受けられるよう、訪問看護ステーションに委託し、療養環境の整備と実態把握を行う。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利 用 者 数	2	2	4	3	4

(6) 在宅難病患者一時入院事業

在宅難病患者の介護者の病気、休息などの理由によって一時的に介護ができなくなった場合、都がベッドを確保した病院に患者が短期間入院することにより安定した療養生活の確保と介護者の負担軽減を図る。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利 用 者 数	0	3	3	2	0

(7) 在宅人工呼吸器使用者災害時支援事業

避難行動要支援者の中でも特に支援の緊急性が高い在宅人工呼吸器使用者について、避難支援を含めた災害時個別支援計画を作成し、災害への備え及び災害発生時の適切な対応を行う。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
災 害 時 個 別 支 援 計 画 作 成 者 数	13	15	24	21	18

※作成者数は新規・更新の合計

7 大気汚染認定審査会の運営

当事業は、「大気汚染に係る健康障害者に対する医療費の助成に関する条例」（昭和47年東京都条例第117号）に基づき、大気汚染の影響を受けると推定される疾病（気管支ぜん息及びその続発症。18歳未満は慢性気管支炎、ぜん息性気管支炎、肺気しゅ及びこれらの続発症も該当する）にかかった都内在住者に対し医療費を助成し、その者の健康障害の救済を図ることを目的としており、保健所において認定審査会を行い、東京都が医療費の助成を行っている。

認定審査会開催回数：12回

認定登録状況一覧表

（令和7年3月31日現在）

年 度				29	30	元	2	3	4	5	6	0~17 歳
区 分												
登 録 件 数	年 間	申 請 件 数		579	373	408	348	374	294	309	255	0
		認 定 件 数		579	373	408	348	374	294	309	255	0
		年 度 末 実 績		1,045	946	777	748	692	655	601	564	1
	疾 病 別 内 訳	慢 性 気管支炎	年 間 認定件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			年度末 実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		気管支 ぜん息	年 間 認定件数	579	373	408	348	374	294	309	255	1
			年度末 実人員	1,045	946	777	748	692	655	601	564	1
		ぜん息性 気管支炎	年 間 認定件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			年度末 実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		肺気しゅ	年 間 認定件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			年度末 実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【登録状況一覧表】

1. 年間の申請件数・認定件数は、新規申請・更新申請の申請者数・認定者数を合わせた件数となる。
2. 認定者数の年度末実人員は、認定期間が2年間であること及び転出入・失権（更新せずに他医療給付制度受給）などによって変動することがある。
よって、年間認定件数と一致しない。

【医療費制度改正】

1. 平成20年8月に、現行の18歳以上に対する医療費の助成制度を見直し、気管支ぜん息にり患した患者の医療費助成を全年齢に拡充した。
なお、慢性気管支炎、ぜん息性気管支炎及び肺気しゅは、引き続き18歳未満が対象である。
2. 平成27年3月末日で18歳以上の新規申請の受付を終了した。
3. 平成30年4月1日から18歳以上の認定者については、自己負担制度が導入された。（月額自己負担限度額：6,000円）

8 公害健康被害補償事業

当区は、昭和50年12月に公害健康被害の補償等に関する法律による第一種地域に指定され、大気汚染の影響による健康被害の補償及び保健福祉事業を行ってきた。この間、硫黄酸化物等の大気汚染の主たる原因の発生源の規制強化が進められ、その著しい減少をもたらすという改善が図られたが、時の経過とともに大気汚染の態様が変化し、現在においては、移動発生源である自動車の排出ガス等による窒素酸化物が大半を占めるに至っている。この結果、無過失責任制を取る原因者負担の制度から地域的に指定することの合理性が失われ、昭和63年3月全国的に第一種地域はすべて解除されたが、既被認定者等に対する補償給付は継続されている。

補償給付事業と平行しながら、大気汚染が総体として気管支ぜん息・慢性閉塞性肺疾患に何らかの影響を及ぼしている可能性が否定できない現状を踏まえ、旧第一種地域としての当区は、総合的な環境保健に関する諸施策を推進し、全区民を対象として、大気汚染の影響による健康被害の予防と健康の保持増進を図っている。

(1)補償給付事業

第一種指定地域の解除により新規認定は解除されたが、既被認定者に対しては、当該認定が有効である間は引き続き補償給付を行う。

なお、有効期限内に指定疾病が治癒しない場合は、認定審査会がその更新と障害の程度の見直しを行う。

ア 既認定者数

指定疾病及び障害の程度(令和7年3月31日現在) (単位:人)

区 分	特級	1級	2級	3級	級外	計
総 数	0	0	1	92	154	247
慢性気管支炎	0	0	0	0	0	0
気管支ぜん息	0	0	1	92	154	247
ぜん息性気管支炎	0	0	0	0	0	0
肺気しゅ	0	0	0	0	0	0

居住地別人員(令和7年3月31日現在) (単位:人)

	男	女	計
区 内 在 住 者	94	84	178
区 外 在 住 者	27	42	69
計	121	126	247

イ 既認定者数の推移(各年度末現在)

(単位:人)

区分 \ 年度	元	2	3	4	5	6
総 数	313	301	287	270	251	247
慢性気管支炎	1	1	1	1	0	0
気管支ぜん息	312	300	286	269	251	247
ぜん息性気管支炎	0	0	0	0	0	0
肺気しゅ	0	0	0	0	0	0

ウ 補償給付の種類と実績

(単位:件、円、%)

給 付 内 容		件数	給付金額	同構成比
	総 数	5,189	184,403,027	100.00
療養の給付 及び療養費	公害医療機関等における診療とその 他の医療費の支払い	3,566	80,835,637	43.83
障害補償費	障害の程度に対応する補償の給付	1,143	81,721,640	44.32
遺族補償費	認定に係る指定疾病を起因とする死 亡の遺族に対する給付	120	12,813,150	6.95
遺 族 補 償 一 時 金	遺族補償費を受けることができる遺 族がいない場合の給付	0	0	0
児 童 補 償 手 当	15歳未満の者で障害補償費に対応 する給付で養育者に支給するもの	0	0	0
療 養 手 当	通院・入院等療養に要する諸経費に 相応する給付	360	8,962,600	4.86
葬祭料	認定に係る指定疾病を起因として死 亡したときの葬儀経費の給付	0	70,000	0.04

※件数に求償分は含まない

エ 公害健康被害認定審査会

第一種指定地域解除後も、既被認定者に対する補償給付を継続しているため、認定の更新と障害程度の見直し等の審査を行う。

令和6年度審査件数:133件 (開催回数:12回)

内訳 認定の更新:40件
認定の更新及び障害程度の見直し:19件
障害程度の見直し:74件
遺族補償給付関係:0件
等級請求:0件(認定の更新と同時審査のため再掲)
等級改定:0件
転入:0件
異議申立:0件

オ 公害医療機関

公害医療機関とは、法による被認定者の医療の給付を取り扱うもので、特に都道府県知事に対しその辞退を申し出たものを除き、健保医療機関及び保険薬局、国保療養取扱機関、生保指定医療機関並びに総理府令で定める病院・診療所をいう。

当区における公害医療機関のうち、医学的検査委託機関は次のとおりである。

(ア) 公益財団法人 ライフ・エクステンション研究所附属永寿総合病院

(イ) 社会福祉法人 浅草寺病院

(2) 公害保健福祉事業

公害によって損なわれた健康の回復とその保持・増進を図り、被認定者の福祉の向上と指定疾病による被害を防止する。

ア インフルエンザ予防接種費用助成

被認定者に対し、予防接種法に基づくインフルエンザ予防接種の自己負担分を助成し、健康の保持を図る。

助成件数：75件

イ 看護師による相談

相談件数：42件

(3) 健康被害予防事業

汚染原因者の社会的責任を踏まえ、既認定者のみに対する旧制度を補完し、大気汚染に関する健康被害の発現の予防をより効果あるものとするため広く地域全体の人口集団を対象とする。気管支ぜん息・慢性閉塞性肺疾患に関する予防から回復までの総合的な環境保健事業に係る一連の施策の中で、事業の内容によって公害保健福祉事業と類似するものは、両事業を統合実施することにより、その効率化を図っている。

ア 健康相談事業

(ア) 被認定者でなくなった制度離脱者に対するフォローアップ

(イ) 専門医による相談 令和5年度事業終了

イ 機能訓練事業

(ア) ぜん息呼吸筋ストレッチ教室

参加人数：16人

(イ) 水泳訓練教室及び音楽療法教室

令和5年度事業終了